



佐賀大学 (佐賀県)

アジアの中の日本、世界の中の日本、地域から見える日本を学ぶ

■大学紹介

① 大学の特色及び概要

佐賀大学は、自然と共生するための人類の「知」の創造と継承に努めています。佐賀地域独自の研究を世界へ発信しています。そして、アジアの知的拠点を目指し、国際社会に貢献しています。

<学 部>

- ・教育学部
- ・芸術地域デザイン学部
- ・経済学部、
- ・医学部、
- ・理工学部、
- ・農学部

学部生数 5,716名

<大学院>

- ・学校教育学研究科
- ・地域デザイン研究科
- ・医学系研究科
- ・先進健康科学研究科
- ・理工学研究科
- ・工学系研究科
- ・農学研究科

大学院生数 782名



② 国際交流の実績

世界各国・地域の101大学と交流協定を結んでいます。現在、本学には109名の留学生在籍しています。2009年度から2022年度までに大使館推薦の日本語・日本文化研修生をベトナム2名、リトアニア、スウェーデン、アルメニア、ベルギー、インド、ブラジル、セルビア共和国、トルクメニスタン各1名、大学推薦の日本語・日本文化研修留学生カンボジア2名、ラオス1名、リトアニア2名、ベトナム3名を受け入れています。

③ 過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生（日研生）の受入れ実績

2022年：留学生数109人、日研生1人
2021年：留学生数122人、日研生1人
2020年：留学生数183人、日研生1人



④ 地域の特徴

佐賀大学のある佐賀県は、九州の北西部に位置し自然が美しく、歴史が豊かなところです。メインキャンパスは佐賀市にあります。佐賀市は、物価が安く、住みやすい町です。気候は温暖で、年間の平均気温は17度です。春には、満開の桜、夏には、鮮やかな緑と花火を見ることができます。また、秋には、黄金色の水田と、カラフルなバルーンが青い空を舞う姿があります。冬には、ときどき、雪がふります。佐賀の人々は国際交流に大変熱心で、インターナショナルバルーンフェスタやいろいろな交流イベントに参加できます。また、佐賀は陶磁器でも非常に有名で、有田、唐津などの焼き物の産地があります。県内のあちこちに、アニメ「ゾンビランドサガ」や「ユーリ!!! on ICE」の舞台となった場所があります。

■研修・コースの概要

① 研修・コースの目的

a) 主に日本事情・日本文化に関する研修

② 研修・コースの特色

佐賀大学は、学生と先生のコミュニケーションが活発な大学です。本コースは、佐賀の美しい自然や心温かい人々といっしょに、日本社会や文化への理解を深め、日本人学生と交流しながら日本語の能力を伸ばすことができるコースです。

<日本語>

本コースでは、研修生のレベルに合った日本語科目を履修できます。レベルにもよりますが、最大で1週間に4～5時間程度の日本語の授業を受けることができます。

<日本文化・日本事情・専門科目>

留学生のための「日本事情」科目があります。また、「インターフェース異文化交流」科目では、日本人の学生といっしょに、議論をしたり、見学に行ったりします。これらの授業によって、研修生は、より深く日本を理解し、日本語の実践的な能力を身につけることができます。また、研修生の興味や専門に応じた科目を受講することができます。

<修了研究>

指導教員や国際交流推進センターの教員の指導のもと、自分の興味のあることについて調査をしてレポート作成を行うことができます。今までの日研生が書いたレポートは、国際交流推進センターのウェブサイトで見ることができます。

<学生生活>

大学主催の留学生と日本人学生のための催しや、学生主催のパーティーが多く行われています。佐賀大学の学生と交流する機会がたくさんあります。また、地域の小・中・高校や文化教室の講師などをしている学生もいます。

③ 受入定員

14名（大使館推薦7名、大学推薦7名）

④ 受講希望者の資格、条件等

- ・主専攻や副専攻で日本語・日本文化など日本に関することを学んでいる
- ・中級（日本語能力試験 JLPT N2合格）以上の日本語能力
- ・佐賀大学の学生や佐賀の人と積極的に交流できる

⑤ 達成目標

- ・日本文化や日本事情、日本語について幅広い知識を身につける。
- ・日本社会に親しむ。
- ・自国で専門研究するための基礎能力を養う。
- ・研修生の帰国後のキャリア選択に役立つ実践的な日本語運用能力を身につける。

⑥ 研修期間（在籍期間）

研修期間：2023年10月上旬～2024年8月下旬

（在籍期間：2023年10月1日～2024年8月31日）

秋学期：2023年10月1日～2024年3月31日

春学期：2024年4月1日～2025年8月31日

⑦ 奨学金支給期間

2023年10月 ～ 2024年8月

静かで歴史豊かな
佐賀の生活は
体験してみんしゃい



かっちーくん

⑧ 研修・年間スケジュール

9月下旬	渡日
10月	開講式 オリエンテーション 新入留学生ウェルカムパーティー
11月	佐賀インターナショナルバルーン フェスタ 唐津くんち
12月	冬休み
2月上旬	定期試験
2月中旬～	春休み
4月	春学期開始
5月	有田陶器市 ガタリンピック
8月上旬	定期試験
8月	夏休み 栄の国祭り 修了式 フェアウェルパーティー
8月下旬	帰国



有田陶器市見学



呼子大綱引き参加

⑨ コースの修了要件

日本語コースから秋学期・春学期合わせて2単位以上、インターフェース科目から2単位以上、その他、佐賀大学の授業の中から14単位以上が修了のために必要です。コースの修了者に対し修了証明書と成績証明書を発行します。修了レポートの作成は、修了要件に入りませんが、できるだけ作成することを勧めています。

⑩ 研修・コース科目の概要・特色

1) 研修・コース科目の特徴

研修生は自分の日本語レベルに合った日本語授業を履修するとともに、異文化交流をテーマにした科目や、基本教養に関わる科目、一部の専門科目を日本人といっしょに履修します。

2) 研修・コース開設科目

科目名	単位数と時間数
日本語科目	2単位（30時間）以上
インターフェース 科目	2単位（30時間）以上
その他佐賀大学が 開講する科目	14単位（210時間）以上

表の中の3つの種類の科目から、それぞれ決まった科目数を履修しなければなりません。それぞれの種類の中でどの授業を取るかは、コーディネータや指導教員と相談します。「その他佐賀大学が開講する科目」の中にも、「日本事情」科目など留学生対象の科目があります。

- ・履修科目を決めるときは、指導教員やコーディネータと相談してください。
- ・今までの研修生は、日本語や日本文学、言語学、日本の建築、教育などに関する授業を受講しました。
- ・「日本語コース」のレベルは、プレースメントテストの結果で決まります。

3) 研修科目で地域の見学や地域交流等の参加出来る科目及びその具体的な内容

「インターフェース異文化交流」科目では、日本人学生との交流や地域への貢献を授業の中心的な活動に設定しています。短期留学生といっしょに受講する「日本事情研修」科目では、地域の歴史・文化・産業を知るために学外見学をしたり、文化体験を行ったりします（「日本事情研修」は英語で行われるので、受講を希望する場合は基礎的な英語力が必要です）。

4) 日本人学生との共修がある科目及び具体的な内容

「インターフェース異文化交流」科目は、日本人と留学生がいっしょに学習する科目です。日本人と議論したり、課題を解決したりしながら、異文化への理解を深めます。また、佐賀大学では、アクティブラーニングを取り入れている科目がたくさんあるので、授業を通して日本人学生と交流する機会があります。

⑪ 指導体制

1) 指導教員

研修生の専門に応じて指導教員が選ばれ、学習について相談します。

2) コースコーディネーター

国際交流推進センター講師 吉川 達

3) 研修生の日本での生活に関しては、佐賀大学の保健管理センターと連携(れんけい)をとりながら、国際交流推進センターの教職員が対応しています。

4) 研修生には、学生チューターが1名ずつつきまします。学生チューターは、日常生活や勉強のお手伝い、日本人学生との交流のお手伝いをしてくれます。

■宿 舎

これまでの研修生は、民間のアパートに住んでいます。台所、お風呂、トイレ、エアコンが付いていて、一か月の家賃は、約2万5千円～3万円です。佐賀大学が紹介しているアパートは、家具が付いているところが多いです。家具が付いている部屋を選んだ学生は、佐賀での生活を簡単に始めることができます。最初の月は、敷金と家賃を合わせて2か月分の家賃を払わなければなりません。最初に必要なお金はだいたい5～7万円です。ちなみに、今までの研修生は冷蔵庫、洗濯機などが付いて約2万5千円のアパートに入居しました。ほとんどの留学生は佐賀大学のそばのアパートに住んでいて、大学まで自転車で5分ぐらいで来られます。

■修了生へのフォローアップ

佐賀大学に留学した研修生は、佐賀大学で学んだことを生かして、母国の日系企業で働いたり、日本の大学院に進学したりしています。日研究生として佐賀大学に留学している間に、自分の専門に合う佐賀大学の先生に連絡をして、大学院への進学相談をしている学生もいます。

修了した研修生は、SNSやメール、国際交流推進センターのホームページを通じて、佐賀大学やコーディネータらいつでも連絡することができます。

佐賀大学の学部を卒業した留学生は、県内外の企業に就職したり、母国で就職したり、また、佐賀大学や他大学の大学院に進学しています。有名な企業で働いている卒業生もいます。



■問合せ先

<担当部署>

佐賀大学学務部教務課留学生交流室

住所：〒840-8502

佐賀県佐賀市本庄町1番地

TEL +81-952-28-8169(直通)

FAX +81-952-28-8819

E-mail ryugaku@mail.admin.saga-u.ac.jp

<ウェブサイト>

佐賀大学国際交流推進センター

<https://www.irdc.saga-u.ac.jp/ja/>

佐賀大学ホームページ

<https://www.saga-u.ac.jp/>

日研究生ホームページ

<https://www.irdc.saga-u.ac.jp/ja/foreignstudent/jresearch/>

